



「個別最適化された学び」「自立と社会参加」を目指す特別支援教育

教育学研究科 高度教職実践専攻 准教授 加藤 隆芳

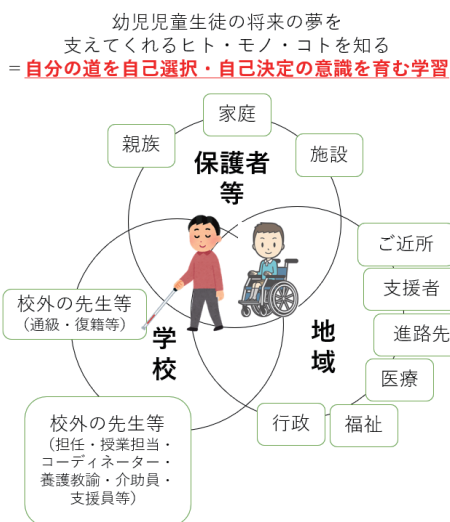
研究シーズの概要

特別支援教育は、子ども一人一人の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するという視点に立ち、個々の教育的ニーズを把握してその持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う教育である。この教育は、通常の学級も含めてあらゆる場において行われるが、なかでも個別的な指導については通級による指導・特別支援学級・特別支援学校で行われることが多く、香川県では約 4,900 名が個別的な指導の場に在籍している。

特別な教育的ニーズのある子どもは、教育を通じて自分に必要なサポートや福祉サービス等について知り、これらを上手に活用しながら、自ら望む生き方を自己選択・自己決定する権利を有している。教職員は、子ども一人一人のよさを見出し・伸ばしつつ、地域生活や職業生活を営むための力を育むばかりでなく、多様な生き方を自ら実現することができる資質・能力を育成する必要がある。

そのためには、教室の中での学び

を超え、様々な社会事象から実際的なことを学びながら、自分の人生を歩むために必要な支援が何かを知るとともに、自分自身も地域において役割を担うという視点を身につけることも欠かせない（上図）。つまり、子どもたちの身の回りの実社会における様々なヒト・モノ・コトと連携した教育活動が、特別支援教育では重要な学びといえる。とりわけ、地元企業・団体と連携した地域学習・社会体験・キャリア教育・職業体験等による学びは、自らが暮らす地域の産業やその特質を知るとともに、これらに支えられて生きていることを実感し、将来はその分野に従事して地域に貢献したい等の主体的な社会参加への意識醸成が可能となる。また、地域社会が連携して障害や困難のある子どもを育成することは、ダイバーシティの視点を地域の様々な場に広げることにつながると考える。



【利用が見込まれる分野】 メディア関連（社会事象を取り扱う出前授業）、人事関連（障害者雇用）、IT 関連（テレワーク）、障害福祉サービス（就労移行支援事業、就労継続支援事業 A 型・B 型、生活介護事業）

研究者プロフィール

加藤 隆芳 / カトウ タカヨシ



メールアドレス kato.takayoshi@kagawa-u.ac.jp
 所属学部等 教育学研究科 高度教職実践専攻
 職位 准教授
 学位 博士（生涯発達科学）
 研究キーワード 特別支援教育、肢体不自由教育、キャリア教育、障害者雇用、NIE（Newspaper in Education）

問い合わせ番号：ED-23-003

本研究に関するお問い合わせは、香川大学産学連携・知的財産センターまで
 直通電話番号：087-832-1672 メールアドレス：ccip-c@kagawa-u.ac.jp